

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<ul style="list-style-type: none"> 一人一人をよく見て、その子に合った関わりをして信頼関係を築いています。受け入れられ、見守られているという安心感が持てるような声掛けを心掛けています。 小学校との連携においてはコロナ禍のため例年のような活動は全くできませんでした。担任と小学校教諭との連携は例年同様行い、普段の子どもの様子を細かに連絡し連携をとっています。 配慮を必要とする園児に対しては専門機関との連携を図り、園児が安心して過ごせるように環境の工夫や配慮をしましたが、まだきめ細やかな関わりには不十分なことがあり今後の課題です。
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか			○		
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか			○		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で保護者は園内に入らなかったため保育参加や懇談会等が中止になりました。例年のように保護者と担任間の細かいやりとりや共通理解が十分にできませんでした。保護者は子どもの普段の様子がよく分からない状態のため、動画配信「おうちえん」で普段の教育・保育の様子を配信しています。 2か月に1回配布していたクラスだよりを廃止し子どもたちの活動の様子リアルタイムでわかるように保育の様子や保育教諭の思い・お知らせ・お願いなどをクラス通信という形で月に2～3回配布しています。そのことで親子の会話が増えたり、子どもの頑張りが活動に対する保護者の思い等、保護者との共通理解につながればという思いで今後も続けていきます。 保護者参加の行事の運動会と生活発表会はこの年禍のため、はいチーズでDVDを作成してもらい配付しました。 年長児については、園生活最後の年ということで、親子で楽しい思い出になればと思い、2月に「親子で一緒にあそぼう」という行事を行いました。戸外でネイチャーゲームなどをして楽しいひと時を過ごしました。 コロナ禍で地域の子育て家庭に対して、交流の場の提供ができませんでした。次年度は、コロナの状況を踏まえながら、電話やメールなどを使って、育児相談などを行って地域の子育て拠点となるよう努めていきます。
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか			○		
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> コロナウィルス感染症予防のための玩具や室内の消毒・看護師による保健指導・マスクの着用・手洗い・換気・3密の回避を看護師を中心に園全体で取り組んでいます。また、コロナ対策が同時に他の感染症予防にもつながっています。 アレルギー疾患児に関しては保護者・担任・看護師・栄養士が面談を行い、保護者と担任間でアレルギー個別対応表をやり取りし、その日の献立とアレルギー源に代わる食材の確認をします。 登園前に検温の徹底、教育・保育中に37.5度以上の発熱があった場合は迎えをお願いする等、厚労省からの感染症マニュアルに沿って対応しています。 月1回避難訓練を実施しています。火災・地震・風水害・不審者侵入等、災害の種類によって職員は、避難の方法・避難経路を選択し瞬時の緊急対応を訓練しています。 事業計画は小松市大和善隣館のホームページに掲載されていますが、利用者の方への周知が不十分なため、周知の方法については検討していきます。 要望・苦情に関する相談窓口、第3者委員については重要事項説明書やホームページに記載されているが、窓口やその方法が十分に周知されていないので、園だよりに明記するなどし周知に努めていきます。 年に3回の自己評価、キャリアパス評価を行い職員自身の振り返りを行うとともに園の課題を明確にし、園内研修で話し合うことで職員全員が共通理解し、改善に努めています。今後も職員一丸となって教育・保育の質の向上に努めていきます。
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

施設関係者評価

- ・取り組み状況・園の対応では、意見に対して真摯に受け止めている文章表現であり、わかりやすくまとめられています。
- ・保護者が送迎で玄関内に入れない時の刑事の仕方を工夫して見られるようにしてはどうか。
- ・4期のねらいを見直すことは、職員同士の保育観を知ることや、保育・指導等、振り返る機会となりいいと思います。
- ・環境は、教材で実践・評価となっており、次年度は教材プラス何か、または発達に必要な体験ができるような環境でとらえてみてはいかがでしょうか。
- ・避難訓練は、午後からの訓練も取り入れて自分たちの訓練・学びとしてほしいです。
- ・クラス通信を月2～3回配布することで園での様子が分かり、保護者は嬉しいと思います。今はクラスも落ち着いています、来年度1期は振り出しに戻ると思うので伝え方に工夫があるかもしれません。(監事: 堅田 光恵)
- ・アンケート集計の結果・報告が見やすくなりました。考え・工夫された姿が出ています。
- ・取り組み課題は字が細かいので、もう少し工夫するといいです。

